

令和1（2019）年度
学修成果点検・評価報告

東京未来大学
自己点検・評価・改善委員会

令和 1（2019）年度 学修成果点検・評価報告

東京未来大学 自己点検・評価・改善委員会

本学では、ディプロマ・ポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価を、「進級率と標準卒業率」「学科・専攻別の GPA 分布」「各種の免許、資格及び検定等の取得状況」「就職状況、就職先アンケート調査、及び卒業生インタビュー」「身につけるべき学士力」アンケート」の 5 つの指標に基づき実施している。以下にその結果を報告する。なお、第 5 の「身につけるべき学士力」アンケートについては、アンケート実施結果を IR センターで分析中であり、分析結果は本報告後に追加で報告する。

指標 1. 進級率と標準年限卒業率

（1）指標の意味

学位の授与に向けたカリキュラムを体系的に理解したうえで科目を履修し、確実に学修と単位修得が行われたかを把握する指標である。ここでは、卒業生が出ている入学年度からのデータを対象としており、まだ卒業生が出ていない年度も含まれている。そのため、進級率で示す年度期間と卒業率で示す年度期間が異なっている。

（2）点検と評価

（2）— 1 通学課程

通学課程については表 1 に示すとおりである。

①こども心理学部こども心理学科心理専攻通学課程

3 年次進級率は、過去 5 年（2014～2018 年）度で平均 85%、標準年限卒業率は過去 3 年（2014～2016 年）度で平均 73.4%であった。2016 年度 3 年次進級率が、2015 年度は標準年限卒業率に落ち込みが見られたが、その後回復しており、3 年次進級率については 2018 年度 89.5%とほぼ 9 割が進級している。

②同学科こども保育・教育専攻通学課程

3 年次進級率は、過去 5 年（2014～2018 年）度で平均 92.4%、標準年限卒業率は過去 3 年（2014～2016 年）度で平均 82.2%であった。本課程は保育士・幼稚園教諭・小学校教諭免許取得を旨とする学生が多く、資格取得には授業出席回数や必要な単位取得が厳密にチェックされる。こうしたことが心理専攻課程に比べて進級率や卒業率に影響していることが考えられる。

③モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科通学課程

本学科には、3年次進級時に進級要件があり、要件を満たさない場合には原級に留め置かれることになる。3年次進級率は、過去5年（2014～2018年）度で平均78.5%であった。標準年限卒業率は過去3年（2014～2016年）度で61.8%であった。学部開設後の歴史が浅く、入学者の学力レベルが安定していない時期のあったことが数値の低さの原因でもある。近年の進級率は高まってきている。

④大学全体

両学部（2専攻・1学科）では、過去5年（2014～2018年）度の3年次進級率は平均87.8%、過去3年（2014～2016年）度の標準年限卒業率は平均78.7%であった。近年は進級率が高まっているので、標準年限卒業率も高まることが予想される。

2020年度からはカリキュラムマップとナンバリング制度を導入し、カリキュラムの体系的な理解を促進し単位取得につなげていく。

表1.【通学課程】入学年度別進級・卒業者の状況

入学年度別進級・卒業者の状況						
学科・専攻	入学年度	入学者数	3年次進級		標準年限卒業	
			人数	進級率(%)	卒業者	卒業率(%)
心理（2019～）（こども心理専攻～2018）	26年度(2014年度)	95	83	87.4	73	76.8
	27年度(2015年度)	105	88	83.8	72	68.6
	28年度(2016年度)	103	84	81.6	77	74.8
	29年度(2017年度)	122	101	82.8		0.0
	30年度(2018年度)	124	111	89.5		0.0
	31年度・元年度(2019年度)	122		0.0		0.0
こども保育・教育専攻	26年度(2014年度)	160	149	93.1	143	89.4
	27年度(2015年度)	163	147	90.2	134	82.2
	28年度(2016年度)	203	191	94.1	183	90.1
	29年度(2017年度)	204	191	93.6		0.0
	30年度(2018年度)	200	182	91.0		0.0
	31年度・元年度(2019年度)	205		0.0		0.0
こども心理学部合計	26年度(2014年度)	255	232	91.0	216	84.7
	27年度(2015年度)	268	235	87.7	206	76.9
	28年度(2016年度)	306	275	89.9	260	85.0
	29年度(2017年度)	326	292	89.6	0	0.0
	30年度(2018年度)	324	293	90.4	0	0.0
	31年度・元年度(2019年度)	327	0	0.0	0	0.0
モチベーション行動科学科	26年度(2014年度)	66	57	86.4	47	71.2
	27年度(2015年度)	46	32	69.6	28	60.9
	28年度(2016年度)	60	38	63.3	32	53.3
	29年度(2017年度)	76	67	88.2		0.0
	30年度(2018年度)	73	62	84.9		0.0
	31年度・元年度(2019年度)	75		0.0		0.0
大学全体	26年度(2014年度)	321	289	90.0	263	81.9
	27年度(2015年度)	314	267	85.0	234	74.5
	28年度(2016年度)	366	313	85.5	292	79.8
	29年度(2017年度)	402	359	89.3	0	0.0
	30年度(2018年度)	397	355	89.4	0	0.0
	31年度・元年度(2019年度)	402	0	0.0	0	0.0
※1 こども心理専攻は2019年度より心理専攻に専攻名称変更						
※2 学校基本調査ベース回答（5月1日基準日）						
※3 編入生を除く						
※4 卒業率、進級率ともに入学者数に対する比率（休学者を除く）						

(2) — 2 通信教育課程

通信教育課程については表2に示すとおりである。なお、通信教育課程には春学期入学・卒業と秋学期入学・卒業があるが、表2では両学期を合わせて示している。また、こども心理学部については通学課程のような専攻別はない。

①こども心理学部

こども心理学部(1年次入学)の過去3年(2013～2015年)度の3年次進級率は、平均49.3%、4年次進級率は平均42.3%、標準年限卒業率は平均35%であった。同期間における3年次編入者については、標準年限卒業率は平均35.3%であった。年度による違いはあるものの、他大学の通信教育課程の卒業率と比較すると決して低くはなく、本学はむしろ高いと言える。

表2.【通信教育課程】入学年度別進級・卒業者の状況

学部及び入学形態	入学年度	入学者数	3年次進級		4年次進級		標準年限卒業	
			人数	進級率	人数	進級率	卒業者	卒業率
こども心理学部 (1年次入学)	平成25(2013)	61	33	54%	27	44%	22	36%
	平成26(2014)	53	24	45%	20	38%	16	30%
	平成27(2015)	69	34	49%	31	45%	27	39%
	平成28(2016)	76	41	54%				
こども心理学部 (3年次編入学)	平成25(2013)	243	—	—	—	—	92	38%
	平成26(2014)	281	—	—	—	—	107	38%
	平成27(2015)	293	—	—	—	—	88	30%
	平成28(2016)	315	—	—	—	—	110	35%
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	平成25(2013)	12	8	67%	4	33%	4	33%
	平成26(2014)	21	16	76%	5	24%	5	24%
	平成27(2015)	22	11	50%	9	41%	8	36%
	平成28(2016)	19	7	37%				
モチベーション 行動科学部 (3年次編入学)	平成25(2013)	21	—	—	—	—	15	71%
	平成26(2014)	22	—	—	—	—	14	64%
	平成27(2015)	21	—	—	—	—	17	81%
	平成28(2016)	26	—	—	—	—	15	58%

- ・通信では秋入試があるため、入学した年度で一括りとしている(例)2013の場合は、2013春入学者と2013秋入学者を足した数。
- ・3年次編入には、進級要件を設けていないためデータなし。
- ・こども心理学部(3年次編入学)は、卒業を目標としない学生(教員免許状取得のみの目標達成退学)が相当数いるため、卒業率は参考程度。

②モチベーション行動科学部

モチベーション行動科学部(1年次入学)の過去3年(2013～2015年)度の3年次進級率は、平均76.7%、4年次進級率は平均32.7%、標準年限卒業率は平均31%であった。同期間における3年次編入者については、標準年限卒業率は平均72%であった。年度による違いはあるものの、他大学の通信教育課程の卒業率と比較するとむしろ高いと言える。

③全体

3年次進級率は、平均56.8%、4年次進級率は平均37.5%、標準年限卒業率は、1年入学・3年次編入を合わせて平均43.3%であった。進級率・卒業率ともに他大学の通信教育課程と比較すると高い。教授法の工夫など教員の努力に加えて、チーム制の導入による学びやすさが、学修へのモチベーション維持につながっていることが考えられる。

指標 2. 学科・専攻別の GPA 分布

(1) 指標の意味

GPA 分布は、ディプロマ・ポリシーに掲げている「高度な専門的知識・技能」修得状況の指標である。本学の GPA は、成績評価 90～100 点が 4.00、80～89 点 3.00、70～79 点 2.00、60～69 点 1.00、59 点以下は 0.00 としている。

(2) 点検と評価

(2) — 1 通学課程

通学課程については表 3 に示すとおりである。

表 3. 【通学課程】卒業生の専攻・学科別 GPA 分布

専攻・学科	入学年度	1.50以下		1.51-2.00		2.01-2.50		2.51-3.00		3.01-3.50		3.51-4.00	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
心理専攻 (こども心理 専攻)	14S	1	1%	2	3%	4	5%	13	17%	24	31%	34	44%
	15S	2	3%	3	4%	17	22%	10	13%	10	13%	37	47%
	16S	1	1%	2	3%	11	14%	20	26%	27	35%	16	21%
こども保育・ 教育専攻	14S	4	3%	3	2%	7	5%	10	7%	39	27%	81	56%
	15S	0	0%	0	0%	1	1%	9	7%	36	27%	89	66%
	16S	2	1%	10	5%	55	30%	56	31%	52	28%	8	4%
モチベーショ ン行動科学科	14S	0	0%	0	0%	6	12%	11	21%	17	33%	18	35%
	15S	1	3%	1	3%	1	3%	2	6%	7	23%	19	61%
	16S	6	19%	6	19%	8	25%	4	13%	6	19%	2	6%

※編入生は除く

過去 3 年 (2014～2016 年) 度の GPA 分布を見ると、成績評価 80 点以上、すなわち GPA3.0 以上の割合は、こども心理学部こども心理学科心理専攻が平均 31.8%、同こども保育・教育専攻が平均 34.7%、モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科が平均 29.5% であり、ほぼ 3 割が良好な成績をとっている。これをさらに GPA 分布のピーク (取得者の割合が最も多い範囲) から見ると、心理専攻が GPA3.51～4.00 (平均 37.3%)、保育・教育専攻が 3.51～4.00 (平均 42.0%)、モチベーション行動科学科が 3.51～4.00 (平均 34.0%) であり、いずれも最も高い範囲にピークがある。ここから、こども心理学部、モチベーション行動科学部いずれも「高度な専門的知識・技能」の修得は良好であるといえる。

(2) — 2 通信教育課程

通信教育課程については表 4 に示すとおりである。

こども心理学部では、3 年次編入学で一般教育科目を開設しているが 4 科目のみであり、モチベーション行動科学部では開設していない (出身校から一括認定)。したがって、ここでは専門科目のみを対象とした結果を報告する。また、GPA 基準は通学課程と同じであるが、2016 年度より評定算出方法が変更になったことに伴い GPA 算出方法も変更された。したがって 2016 年度前後で GPA の分布が大きく異なるため、ここでは従来の方式で算出した過去

2年（2014～2015年）度で見ていく。

過去2年（2014～2015年）度のGPA分布を見ると、成績評価80点以上、すなわちGPA3.0以上の割合は、こども心理学部では1年次入学生が平均27.5%、3年次編入学生が平均20.5%であった。GPA分布のピークで見た場合には、1年入学生、3年次編入学生ともに、3.51～4.00（平均62%、72%）であった。モチベーション行動科学部でも、1年次入学生、3年次編入学生ともに3.51～4.00（平均59.5%、59.5%）であった。

いずれも最も高い範囲にピークがあり、両学部ともに「高度な専門的知識・技能」の修得は良好であるといえる。

表4.【通信教育課程】卒業生の専攻・学科別GPA分布

		専門教育科目											
学部及び入学形態	入学時期	1.50以下		1.51-2.00		2.01-2.50		2.51-3.00		3.01-3.50		3.51-4.00	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
こども心理学部 (1年次入学)	2014	0	0%	0	0%	2	8%	1	4%	7	27%	16	62%
	2015	0	0%	0	0%	0	0%	3	10%	8	28%	18	62%
	2016	0	0%	1	2%	3	7%	8	20%	19	46%	10	24%
こども心理学部 (3年次編入学)	2014	0	0%	1	1%	2	1%	5	3%	26	17%	115	77%
	2015	0	0%	1	1%	4	3%	7	5%	32	24%	89	67%
	2016	1	1%	4	3%	10	7%	26	18%	52	36%	50	35%
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	2014	0	0%	0	0%	0	0%	1	11%	3	33%	5	56%
	2015	0	0%	0	0%	0	0%	1	13%	2	25%	5	63%
	2016	0	0%	1	14%	0	0%	2	29%	2	29%	2	29%
モチベーション 行動科学部 (3年次編入学)	2014	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%	3	16%	15	79%
	2015	0	0%	0	0%	0	0%	2	10%	4	20%	14	70%
	2016	0	0%	0	0%	2	11%	3	17%	8	44%	5	28%

・通信では秋入試があるため、入学した年度一括りとしている（例）2013の場合は、2013春入学者と2013秋入学者を足した数。

・2016年度(1年次入学)については、卒業見込み学生で算出しているため、過去の年度に比べ算出対象学生数が多くになっている。

・2016年度より、評定の算出方法が変更となった影響でGPA算出方法も変更。したがって2016年度前後で、GPA分布が大きく異なっている。

指標3. 各種の免許、資格及び検定等の取得状況

(1) 指標の意味

免許、資格及び検定等の取得状況は、ディプロマ・ポリシーに掲げられた「高度な専門的知識・技能」を修得したことの指標となるだけでなく、取得しようとする姿勢自体が「高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動する」ことの表れととらえることができる。

(2) 点検と評価

指標となる免許・資格は学部・学科・専攻によってことなる。まとめた表（表5～6）も掲載するが、以下でそれぞれ概要を報告する。

(2) — 1 通学課程

通学課程については表5に示すとおりである。

①こども心理学部こども心理学科心理専攻

認定心理士、こども心理アドバイザー、レクリエーション・イストラクターの資格を取得することができる。

過去4年（2013～2016年）度の取得状況は、認定心理士が61～70%、こども心理アドバイザーが5～25%、レクリエーション・インストラクターは、0～1%であった。

②こども心理学部こども心理学科こども保育・教育専攻通学課程

保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、こどもサポーター、認定ベビーシッター、レクリエーション・インストラクターを取得することができる。

過去4年度の取得状況は、保育士資格・幼稚園教諭免許が、55～76%、幼稚園教諭一種免許状と小学校教諭一種免許状3～13%、こどもサポーター10～44%、認定ベビーシッターが、2～26%レクリエーション・インストラクターは、0～6%であった。

③モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科

公認モチベーション・マネジャー(Basic)、社会調査士、認定心理士、中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（公民）、レクリエーション・インストラクターを取得することができる。

過去4年度の取得状況は、公認モチベーション・マネジャーが、38～54%、社会調査士9～34%、認定心理士6～21%、中学校教諭一種免許状（社会）0～8%、高等学校教諭一種免許状（公民）0～5%、レクリエーション・インストラクターは、0～6%である。

表5.【通学課程】資格・免許状取得状況

保育士資格・幼稚園・小学校教員免許状取得者													
入学年度	卒業生数	保育士資格のみ取得者		幼児のみ取得者		保育士・幼児取得者		小児のみ取得者		幼児・小児取得者		資格・免許未取得者	
		人数	取得率(%)	人数	取得率(%)	人数	取得率(%)	人数	取得率(%)	人数	取得率(%)	人数	取得率(%)
2013	136	8	6%	4	3%	103	76%	8	6%	4	3%	9	7%
2014	143	17	12%	14	10%	78	55%	5	3%	11	8%	18	13%
2015	134	6	4%	2	1%	100	75%	0	0%	17	13%	9	7%
2016	183	7	4%	8	4%	137	75%	1	1%	16	9%	14	8%

中学校・高等学校教員免許状取得者					
入学年度	卒業生数	中免取得者		高免取得者	
		人数	取得率(%)	人数	取得率(%)
2013	38	3	8%	2	5%
2014	47	2	4%	2	4%
2015	28	1	4%	1	4%
2016	32	0	0%	0	0%

認定心理士資格取得者（心理）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	89	62	70%
2014	73	61	84%
2015	72	44	61%
2016	77	48	62%

こども心理アドバイザー資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	89	15	17%
2014	73	18	25%
2015	72	6	8%
2016	77	4	5%

こどもサポーター取得者（心理）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	89	-	-
2014	73	32	44%
2015	72	21	29%
2016	77	8	10%

認定ベビーシッター取得者（保教）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	136	8	6%
2014	143	3	2%
2015	134	30	22%
2016	183	47	26%

認定心理士資格取得者（モチベ）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	38	8	21%
2014	47	3	6%
2015	28	2	7%
2016	32	3	9%

社会調査士取得者（モチベ）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	38	4	11%
2014	47	4	9%
2015	28	4	14%
2016	32	11	34%

公認モチベーション・マネジャー取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	38	17	45%
2014	47	18	38%
2015	28	15	54%
2016	32	20	63%

レク・インストラクター資格（心理）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	89	0	0%
2014	73	0	0%
2015	72	0	0%
2016	77	1	1%

レク・インストラクター資格（保教）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	136	0	0%
2014	143	2	1%
2015	134	0	0%
2016	183	2	1%

レク・インストラクター資格（モチベ）			
入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
2013	38	1	3%
2014	47	3	6%
2015	28	0	0%
2016	32	2	6%

(2) — 2 通信教育課程

通信教育課程においては表6に示すとおりである。

表6.【通信教育課程】資格・免許状取得状況

幼稚園・小学校教員免許取得者

学部及び入学形態	入学年度	卒業生数	目標達成 退学者数	免許状取得 希望者数	幼免のみ取得者		小免のみ取得者		幼免・小免取得者	
					人数	取得率(%)	人数	取得率(%)	人数	取得率(%)
こども心理学部 (1年次入学)	2013	36	—	24	3	13%	8	33%	6	25%
	2014	26	—	14	5	36%	6	43%	2	14%
	2015	29	—	16	3	19%	9	56%	2	13%
	2016		—							
こども心理学部 (3年次編入学)	2013	136	56	135	35	26%	95	70%	—	—
	2014	149	69	151	36	24%	111	74%	—	—
	2015	133	97	179	45	25%	125	70%	—	—
	2016									

- ・1年次入学の免許取得希望者は、卒業者のうち大学に教員免許取得希望願を提出した学生数。
- ・3年次編入学の免許取得希望者数は、卒業生数から教員免許状が取得できない「認定心理士コース」「生涯学習コース」の学生を除き、目標達成退学学生を加えた数。
- ・通信では、学生の教員免許取得の実態を把握していない。理由は次の通り。
 - 1、課程の特性上、全員回答を目的とした免許取得状況調査が困難であること。
 - 2、免許申請が大学一括によるものではなく、学生による個人申請であること。
 - 3、学生によって適用する免許法の条項が異なることが多いため、免許取得にかかる要件の充足をシステム上で一括確認することが不可能であること
- ・よって、上表の免許取得者数は、免許申請にかかる「学力に関する証明書」発行ベースで算出したため、参考数である(卒業後、数年たって免許状の個人申請を行う学生も少なからず存在)。
- ・免許取得率はひとまず、卒業生数ではなく希望者数ベースで算出。

認定心理士資格取得者

学部及び入学形態	入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
こども心理学部 (1年次入学)	2013	36	17	47%
	2014	26	3	12%
	2015	29	4	14%
	2016			
こども心理学部 (3年次編入学)	2013	136	26	19%
	2014	149	37	25%
	2015	133	21	16%
	2016			
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	2013	8	5	63%
	2014	9	0	0%
	2015	8	2	25%
	2016			
モチベーション 行動科学部 (3年次編入学)	2013	20	8	40%
	2014	19	10	53%
	2015	20	8	40%
	2016			

- ・通信では、学生の認定心理士資格及び公認モチベーション・マネージャーBasic資格取得の実態を把握していない。理由は次の通り。
 - 1、課程の特性上、全員回答を目的とした資格取得状況調査が困難であること。
 - 2、資格申請が大学一括によるものではなく、学生による個人申請であること。
 - 3、資格要件を一括チェックできるシステムが存在しないこと。
- ・よって、各表の資格取得者数は、資格申請にかかる証明書発行ベースで算出したため、参考数である。

レクリエーション・インストラクター資格取得者

学部及び入学形態	入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
こども心理学部 (1年次入学)	2013	36	1	3%
	2014	26	0	0%
	2015	29	1	3%
	2016			
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	2013	8	0	0%
	2014	9	0	0%
	2015	8	0	0%
	2016			

公認モチベーション・マネージャーBasic資格取得者

学部及び入学形態	入学年度	卒業生数	人数	取得率(%)
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	2013	8	3	38%
	2014	9	1	11%
	2015	8	1	13%
	2016			
モチベーション 行動科学部 (3年次編入学)	2013	20	12	60%
	2014	19	10	53%
	2015	20	8	40%
	2016			

①こども心理学部1年次入学

免許状取得希望者のうち、幼稚園教諭一種免許状の取得率は13～36%、小学校教諭一種免許状の取得率は33～56%である。過去3年度の認定心理士資格取得状況は12～47%、レクリエーション・インストラクター資格取得状況は0～3%であった。

②こども心理学部3年次編入学

免許状取得希望者のうち、幼稚園教諭一種免許状の取得率は24～26%、小学校教諭一種免許状の取得率は70～74%であった。

③モチベーション行動科学部1年次入学

過去3年度の認定心理士資格取得状況は、0～63%、レクリエーション・インストラクターは0%、公認モチベーション・マネージャー(Basic)資格は、11～38%であった。

④モチベーション行動科学部3年次編入学

過去3年度の公認モチベーション・マネージャー (Basic) の資格取得状況は、40～60%であった。

⑤全学

全学の学生に、日本心理学諸学会連合が実施する認定資格である「心理学検定」の受検を推奨している。2019年度試験の本学の団体申し込み者数は82名で、全国の大学中第5位の人数である。また、団体申込をして自前の大学を受験会場とできる受験者数は40名以上で、本学は、団体申込が認められた19校の中の1校である。

指標4. 就職状況、就職先アンケート調査、及び卒業生インタビュー

(1) 指標の意味

就職状況、就職後の活動状況は、ディプロマ・ポリシーに掲げる「社会に貢献しうる人材」育成の指標である。

(2) 点検と評価

(2)-1 通学課程

通学課程の過去3年(2013～2015年)度就職実績を表7に示す。

表7. 【通学課程】就職実績(3年間計・留年生含む)

		保育園・学校	メーカー	商社	小売	金融	広告・出版・マスコミ	ソフトウェア	サービス・インフラ	官公庁・公社・団体	合計
こども心理	13S	20	6	8	43	3	1	15	119	3	218
	14S										
	15S										
保教	13S	233	6	11	24	1	3	5	72	3	358
	14S										
	15S										
モチベ	13S	2	6	7	21	0	2	11	44	1	94
	14S										
	15S										
合計		255	18	26	88	4	6	31	235	7	670
%		38	2.7	3.9	13	0.6	0.9	4.6	35	1	100

直近の2019年度については、2020年3月集計の就職率は99.1%であった。業種は多岐にわたるが、全体は「保育園・学校」が38%で最も多く、次いで「サービス・インフラ」35%、「小売」13%、「ソフトウェア」4.6%、「商社」3.9%、「メーカー」2.7%の順となっている。こども保育・教育専攻では、「保育園・学校」が65.1%を占めており、同専攻のディプロマ・ポリシー「子どもの心身の健全な発達についての高度な専門性を発揮できる職種である、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、福祉職種に向けた職能を修得するように努めている。」を反映した結果となっている。

2019 年度より、本学卒業生の「身につけるべき学士力」の修得状況について、就職先に依頼しアンケート調査を行っている。こども心理学部卒業生、モチベーション行動科学部卒業生ともに、「一般教育科目において身につけるべき学士力」、「キャリア科目において身につけるべき学士力」において良好な評価が得られている。

また、保育園、幼稚園、子ども園に勤務する卒業生にインタビュー調査を実施しているが、卒業生がディプロマ・ポリシーに示す要件を充足し、それが仕事の中でも活かされていることを推測できる回答を得ている。

(2) — 2 通信教育課程

通信教育課程においては、すでに仕事を持ち働いている社会人が多数であるため、卒業後の就職状況については調査を実施していない。卒業生へのインタビューは「卒業生からのメッセージ」として大学通信教育課程ウェブサイトに掲載しているが、卒業生がディプロマ・ポリシーに示す要件を充足し、それが仕事の中でも活かされていることを推測できる回答を得ている。

指標 5. 「身につけるべき学士力」アンケート

(1) 指標の意味

ディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学が独自に定めた「身につけるべき学士力」の到達度の指標であり、自己評価により実施している。結果は現在 IR センターで分析中であり、本報告後に追加で報告する予定である。

以上